



あなたを守る安全健康保護具ガイド

～サービス産業で働く人のために～

田中茂（著）（2016年3月，中央労働災害防止協会）

産業医科大学産業保健学部 教授 宮内 博幸

近年，第三次産業である食品製造，介護・社会福祉施設，ビルメンテナンス，小売業等の労働災害を防止することは大きな課題となっている。そのためには職場の環境改善や作業改善，基礎体力の増進，安全衛生保護具による取り組み等が重要と言える。しかし安全衛生保護具による予防については，十分に普及しているとは言い難い。特にサービス業にて使用される保護具には，規制がないものも多く，使用すべき選択に迷う。本書ではサービス業の労働災害状況や特徴を踏まえ，保護具の選定と使用を中心とした対策について紹介している。内容の構成は，「サービス産業における労働災害の現状と特徴」，「サービス産業における労働災害事例から学ぶ」，「サービス産業従事者における職種別に推奨する保護具」，「サービス産業における業種別の労働災害発生状況」の4項よりなり，サービス業の労働安全衛生対策について基本から学ぶことが可能だ。

例えば「サービス産業における労働災害事例から学ぶ」の項目では，飲食庖や給食調理，および食料品製造業の転倒や火傷，切傷や裂傷事故の原

因を解明し対策を述べている。さらに「サービス産業従事者における職種別に推奨する保護具」では，廃棄物回収業に推奨する保護具として，切傷や突刺し防止と耐油性を兼ね備えた保護手袋，矯正用めがねと併用が可能なゴーグル，感染性物質からの防護も備えたN95マスク等を具体的に紹介している。また，「労働安全衛生面での問題点」や「実施すべき対策」の欄には，問題点や対策が箇条書きで示されている。一方，「安全衛生ひとこと解説」や「安全衛生ポイント解説」，「耳よりコラム」として，役に立つ新しい情報がコラム形式にて記載されている。「サービス産業における業種別の労働災害発生状況」では，国により公表されている業種別の労働災害発生状況がわかり易く紹介されている。

本書の特徴として，多くの写真が添えられ，大変興味深く読め，職場の管理者から作業者まで活用できる実用的な好書と言える。

（『安全衛生コンサルタント36』（119），2016の〈図書紹介〉より転載）